

競馬 第60回アルゼンチン共和国杯観戦記

藤田 倍郎・松本 良彦

2022年11月6日(日)東京競馬場で、「第60回アルゼンチン共和国杯」芝2500メートルのレースが行われました。今回は César Rodolfo COMPOY 臨時代理大使がホストを務められ、レセプションも新型コロナ観戦に配慮しながら久方ぶりに下の写真のごとく催されました。



永井理事長と小林麻紀外務省中南米局長

日本中央競馬会国際部伊藤裕部長と筆者藤田

優勝したのは6番人気の「ブレイクアップ」、終始リードしていたキングオブドラゴンが直線に入るところで内埒（馬場柵）に体が触りバランスを崩したところを、3番手の好位追走から直線で抜け出し1.1/4馬身差で一着ゴールでした。昇級初戦でジャパンカップ、有馬記念につながる伝統のレースで重賞初制覇を果たしました。

騎乗した田辺裕信騎手は「まさか！びっくり！」とコメント、ホームストレッチでのアクシデントには「ヒヤッとしたが、馬は影響なく回避してくれた」と「ブレイクアップ」の冷静さを讃えていました。2着は武豊騎乗のハーツイストワール、3着は3番人気のヒートオンビートでした。



レース終了後表彰式が行われ、CAMPOY 臨時代理大使から「ブレイクアップ」の馬主の阿部東亜子氏にアルゼンチン共和国杯が授与されました。

当日の全レース終了後、恒例の「タンゴショー」が行われ、Sr. Daniel Urquilla と Sra. Mihoko Sakata お二人のダンスに魅了され、幕を閉じました。



(ふじたごろう・まつもとよしひこ：当協会業務執行理事)